

総合知と専門知 Common sense & Senmon sense

2022年9月19日

西 和彦

博士（情報学）

須磨学園 学園長

いろいろな「知」

- **総合知** **専門知** 暗黙知 集合知 形式知 絶対知
- **知恵** 知行 知遇 知計 知見 知言 知行 知財 知齒 知事
知識 知術 知性 知足 知得 知徳 知能 知囊 知弁 知謀
知勇 知略 知慮 知了 知力
- 英知 開知 覚知 確知 猾知 奸知 感知 関知 奇知 既知
機知 窺知 旧知 愚知 下知 検知 見知 公知 巧知 狡知
告知 故知 才知 察知 三知 参知 四知 至知 自知 邪知
周知 衆知 熟知 主知 小知 承知 詳知 上知 辱知 所知
神知 真知 新知 人知 仁知 推知 生知 世知 先知 浅知
全知 前知 相知 即知 俗知 存知 多知 探知 致知 謀知
偵知 独知 頓知 認知 佞知 半知 不知 聞知 報知 凡知
未知 無知 明知 与知 予知 理知 了知

知のピラミッド

- 知恵

↑ 構造化

- 知識

↑ 実体験

- 情報

- インテリジェンス

↑ 分析・評価

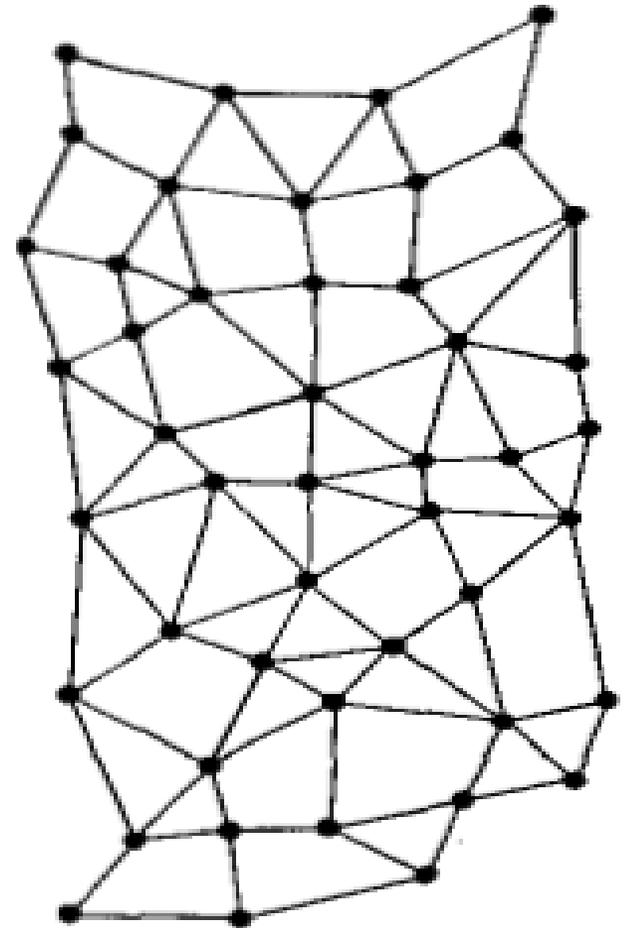
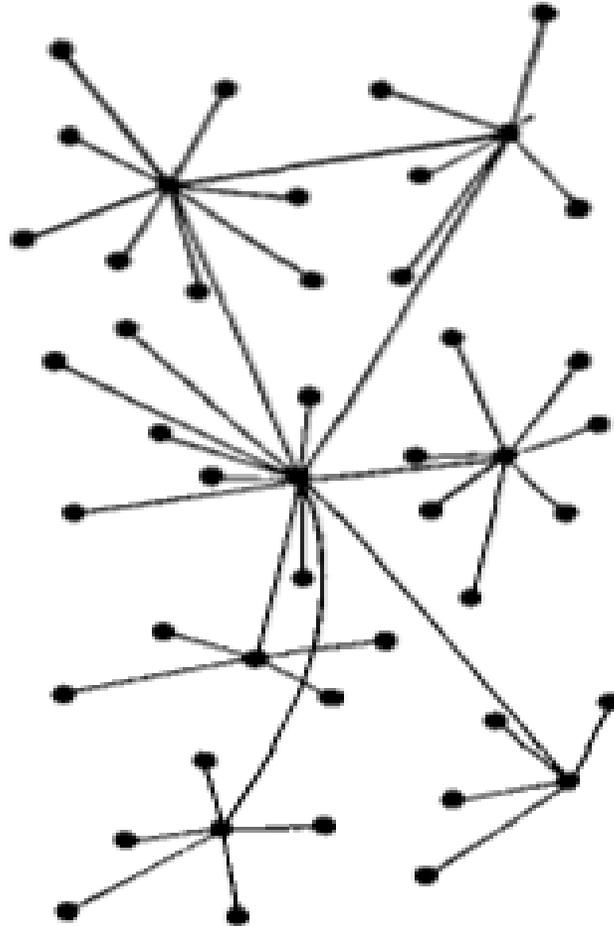
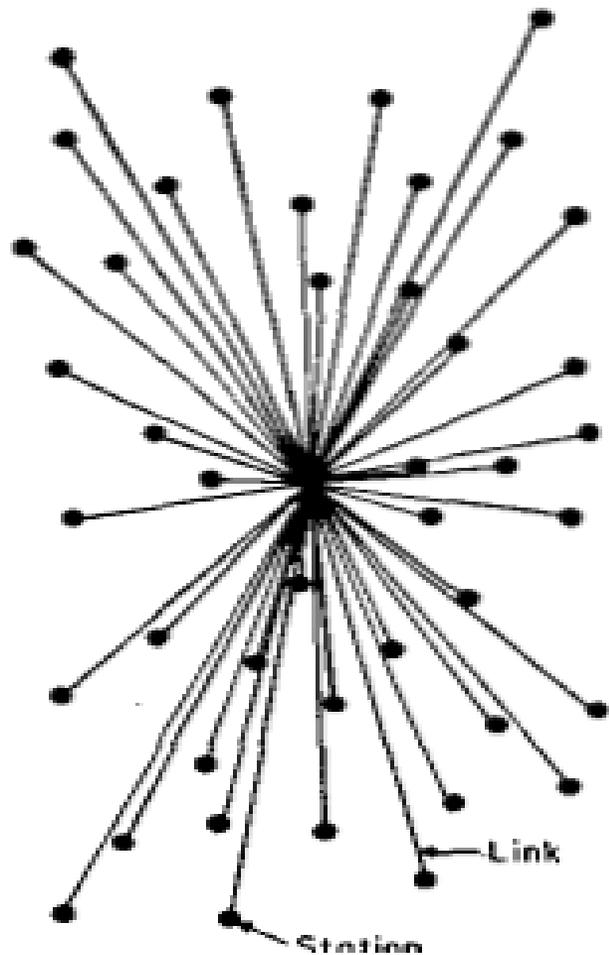
- インフォメーション

↑ 選択

- データ

↑ 収集

ツリー構造か ネットワーク構造か



しかし、
最後は 列車かジェットコースター



- 時系列

アウトプットのスタイル

- 1幕
 - 2幕
 - 3幕
 - 序論
 - 本論
 - 結論
 - 序
 - 破
 - 急
- **論文をどのような様式で書くのか**は、学者、研究者にとって大切なテーマである

ネットワーク知識とネットワーク組織

- 専門知よりネットワークが解決した例が多い
- 組織での形は両方か 幹部と現場では違うことが多い
- 組織に合うのはネットワーク知識
- 高度な抽象化とアナロジーがルールを見つける

失敗も成功も、本質は実験

- うまくいかなかったという実験
 - 失敗と思うと、学べない
- うまくいったという実験
 - 自慢は説得につながらない
 - 奢らない
 - 奢ると、そこで進歩がストップ

美しいという価値観

- 複雑な答えは、シンプルになってゆく傾向がある
- ほとんどの答えは、シンプルで美しい
- 美しくありたいという価値観は、極めて普遍的

総合知はCommon sense

- 専門知のことを新しい名前呼びたい

専門知はSenmon sense

- 専門知の可視化されている部分はツリー構造が多いが、その要素にリンクを張って、ネットワーク化することが興味深い
- 専門知の総合知との共通部分が大切ではないだろうか

種から、またたくさん種に

- 種

発芽 多くの種は発芽しないで失われてしまう

- 花

受精 多くの花は受精しないで散ってしまう

- 果実

収穫 収穫されなければ腐ってしまう

- 種

種は何のために

- 花を咲かせる
- 身を結ばせる
- 種をとる

- そのために必要なこと
 - 水
 - 適当な温度
 - 太陽の光、二酸化炭素

知を生み出すための条件

- 知にとっての
 - 水とは
 - 温度とは
 - 太陽の光とは

何か

- 自己努力（種の持っているポテンシャル）
- 環境の整備

の2つが必要ではないか

知は何のために そのために必要なこと

- ヒトや社会や国や地球のために役に立てることが目的
- この価値観と使命感が学問には必要ではないか